



<b>2012年4月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は全店ベースで+3.2%、既存店ベースで+1.4%。売上増減要素:①新車需要の拡大や震災後の需要減の反動により、前年同月比はタイヤ、ホイール、アクセサリ、カーリペアなどで幅広く上昇、②特にタイヤ、ホイールは履き替えのタイミングを狙った販促により大きく伸長、③カーナビは前月の大幅伸長の反動発生。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> タイヤ・ホイールは、新聞広告やチラシ広告が夏タイヤへの履き替えのタイミングと合い、売上増。特にホイールはコンパクト車や軽自動車向けの低価格商品を豊富に揃えたことにより、売上大幅増。
<b>カーエレクトロニクス:</b>	3月に好調だったナビゲーションの売上が、反動で落ち込む。昨年好調だった地デジチューナーも前年同月から半減。 <b>メンテナンス:</b> 昨年は震災の影響で、自動車用インバーター、安全用品、ガソリン携行缶などの売上が好調だったが、今年はその反動で前年同月比マイナス。
<b>アクセサリ:</b>	新車需要の拡大により、車内アクセサリ(特にスマートホン関連)、インテリア用品の売上は引き続き好調。 <b>カースポーツ:</b> 新車需要の拡大に伴い全般的に好調。HIDランプやスポーツシートなども好調。
<b>車検・整備:</b>	新車販売増の影響により車検実施台数の伸びは鈍化。台数前年比+0.7%、金額前年比+2.8%(全店ベース)。 <b>車販売:</b> 台数前年比+0.3%、金額前年比+2.8%(全店ベース)。エコカー補助金制度の効果と昨年の震災後の需要減からの反動などで新車の販売が好調。
<b>出店、退店状況</b>	4月度 国内:新店2、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:出退店なし
	4月末 国内店舗数: 532店舗(オートボックス431、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 1、オートボックスセコハン市場 18、オートボックスエクスプレス 6)

<b>2012年5月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は全店ベースで▲6.2%、既存店ベースで▲7.5%。売上増減要素:、①土日祝日が前年より2日減少、②タイヤが昨年の値上げ前の特需の反動により前年割れ、③昨年の地デジ化移行に伴う特需の反動で、チューナー、ナビの売上が前年割れ、④新車販売増に伴う関連需要の拡大によりアクセサリ、カーリペア、カースポーツが好調。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 昨年度は、震災と天候の影響で夏タイヤへの履き替えが5月まで遅れたことや、タイヤ値上げ前の駆け込み需要があったことにより大きく売上が伸びたが、今年はその反動で大きく前年割れ。ただし一昨年の水準は上回る(全店ベース)。
<b>カーエレクトロニクス:</b>	地デジチューナーの売上は対前年比で7割減。PND、据え置き型ナビともに金額前年比は2ケタマイナス。新車需要はあるものの、昨年震災後に伸びたナビの需要や地デジ需要の反動や、新モデル発売前の買い控えの影響が大きい模様。
<b>メンテナンス:</b>	震災特需の影響は少なくなったものの、西日本を中心に降雨量が少なかったことなどによりワイパー関連商品が大きく減。 <b>アクセサリ:</b> 新車販売の伸びと連動して好調に推移。合わせて新車ユーザー向けの売場企画やスマートフォン企画などを実施し、需要獲得に取り組んだ結果、車内アクセサリ、インテリア用品、レーダー探知機などが好調に推移。 <b>カースポーツ:</b> 新車販売の伸びと連動して好調に推移。 <b>車検・整備:</b> 税制改正に伴う自動車重量税の変更により、5月まで待つ顧客が増加し、大きく前年を上回る。ただし昨年震災の特需で好調だった東北エリアのみ前年割れ。台数前年比+12.4%、金額前年比+12.3%(全店ベース)。 <b>車販売:</b> 台数前年比▲0.9%、金額前年比+5.1%(全店ベース)。エコカー補助金制度の効果と昨年の震災後の需要減からの反動などで新車の販売が伸長。
<b>出店、退店状況</b>	5月度 国内:新店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店1、海外:新店1(中国上海)
	5月末 国内店舗数: 531店舗(オートボックス431、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 1、オートボックスセコハン市場 18、オートボックスエクスプレス 5)

<b>2012年6月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は全店ベースで+1.1%、既存店ベースで▲0.7%。売上増減要素:①昨年の地デジ化移行に伴う特需の反動で、チューナー、ナビの売上が前年割れ、②タイヤは昨年が値上げ直後で大幅減だったこともあり、前年プラス、③新車販売増に伴う関連需要の拡大で、アクセサリ、カーリペア、カースポーツが好調。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 昨年度はタイヤ値上げ前の駆け込み需要が5月に発生したことにより、6月に大きなマイナスが発生。今年はその反動で大きく前年を上回った。ホイールは、好調な新車販売に連動してドレスアップ商品の品揃えを強化し、チラシなどの販促やホイール下取り企画などを実施したことにより、大幅伸長。 <b>カーエレクトロニクス:</b> 地デジチューナーが売上・数量ともに大幅前年割れ。ナビゲーションについては、好調な新車販売に連動して需要はあるものの、単価下落の影響が大きく、PND、据え置き型ナビとも金額前年比で2桁マイナス。 <b>アクセサリ:</b> 新車販売の伸びと連動して引き続き好調。スマートフォン関連用品、車内アクセサリ、インテリア用品、レーダー探知機などが特に好調。 <b>カースポーツ:</b> 新車販売の伸びと連動してスポーツシート、スポーティグッズなどが好調。
<b>カーリペア:</b>	引き続きワックス、コート剤、クリーナーなどが好調。 <b>サービス:</b> 店舗での取り組み強化の影響もあり、車検・整備や板金・塗装などメンテナンスサービスの売上が伸長。車検・整備の台数前年比+8.7%、金額前年比+7.5%(全店ベース)。
<b>車販売:</b>	中古車販売実績は前年割れだったものの、エコカー補助金制度の効果で新車販売が伸長し、台数前年比+7.8%、金額前年比+22.9%(全店ベース)。
<b>出店、退店状況</b>	6月度 国内:新店4、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店1、退店0、海外:新店0
	6月末 国内店舗数: 535店舗(オートボックス434、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 1、オートボックスセコハン市場 18、オートボックスエクスプレス 6)

<b>2012年7月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は全店ベースで▲9.4%、既存店ベースで▲12.1%。売上増減要素:①昨年の地デジ化移行に伴う特需の反動で、チューナー、ナビゲーションの売上が大きく前年割れ。関連して取り付けサービス売上も減少、②中旬までは全般的に涼しい天候が続いたこと、また梅雨明けの遅れによりバッテリー売上が減少、③タイヤ・ホイールは、昨年のタイヤ値上げ後の需要減から今年は反動で増加。また夏商戦の販売施策も奏功し前年を上回った、④新車販売増に伴う関連需要の拡大でアクセサリ、カーリペア、カースポーツの売上が好調。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> タイヤは単価の高い低燃費タイヤを中心としたセールスキャンペーンを行い単価がアップ、昨年度のタイヤ値上げ後に販売が伸び悩んだことからの反動もあり前年比プラス。ホイールは、好調な新車販売に連動し、チラシ・TVCMなどの販促や下取り企画などを実施したことにより前年実績を上回った。 <b>カーエレクトロニクス:</b> 地デジチューナーが売上・数量ともに大幅前年割れ。ナビゲーションについては、昨年の地デジ特需からの反動が発生。PND・据え置き型ナビともに金額、数量の両方で前年を大きく下回った。
<b>アクセサリ:</b>	新車販売台数の伸びと連動して店舗での品揃えを拡大したこともあり、スマートフォン関連用品、車内アクセサリなどを中心に、引き続き好調。 <b>バッテリー:</b> 九州地方の降雨や関東以北の7月前半の気温の低下などの影響により、低調。
<b>メンテナンス:</b>	昨年震災後に好調だった電装部品、ガレージ用品・工具などが前年割れ。 <b>サービス:</b> カーエレクトロニクス商品の販売低迷により取付け工賃が連動して下落。車検・整備は、台数前年比+6.2%、金額前年比+5.2%(全店ベース)と前年を上回ったが、新車販売が好調な中で伸びは鈍化。 <b>車販売:</b> エコカー補助金制度の効果で新車販売が伸長し、単価アップ。台数前年比+3.8%、金額前年比+10.9%(全店ベース)。
<b>出店、退店状況</b>	7月度 国内:新店4、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:新店0
	7月末 国内店舗数: 536店舗(オートボックス438、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 1、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 6)

<b>2012年8月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は全店ベースで▲3.5%、既存店ベースで▲5.8%。売上増減要素:①昨年の地デジ化移行に伴う特需の反動と単価下落の影響で、チューナーやカーナビゲーション、またそれに関連した取り付けサービスが不調。②新車販売増に伴う関連需要の拡大でアクセサリ、カースポーツが好調。③全般的に好天が続き、洗車関連用品が好調。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 月初に実施した新聞広告などの効果により、タイヤ・ホイールセット販売を中心に中旬まで売上が好調に推移。特にホイールは新車販売増に連動して好調だったため、タイヤ売上をけん引。 <b>カーエレクトロニクス:</b> 昨年の地デジ化移行に伴う特需の反動と単価下落の影響で、地デジチューナー、カーナビゲーション(PND・据え置き型ナビとも)の売上が大きく前年割れ。新車の販売増に伴いETC、スピーカーなどの需要はあったものの、カーナビのマイナスをカバーするには至らず。 <b>アクセサリ:</b> 新車販売台数の伸びと連動して店舗での品揃えを拡大したこともあり、スマートフォン関連用品、車内アクセサリなどを中心に、好調維持。猛暑により日除け用品の売上も伸長。 <b>メンテナンス:</b> ルーフBOXキャリアの中でも低価格帯のものが好調。猛暑の影響でエアコン関連需要も増加。一方、通常のワイパーより値段が高めな撥水ワイパーの売上は不調。 <b>カーリペア:</b> 新車販売や好天により手軽な洗車用品、コート剤、車内清掃用品などが好調。 <b>サービス:</b> カーエレクトロニクス商品の販売低迷により取付け工賃が連動して下落。車検・整備は、台数前年比+8.4%、金額前年比+7.2%(全店ベース)と前年を上回ったが、新車販売増に伴う需要減の傾向は弱まる。 <b>車販売:</b> エコカー補助金制度の終了が近づくと、新車販売台数の増加は落ち着き中古車販売が盛り返す。ただし業販が振るわず前年割れ。台数前年比▲4.7%、金額前年比▲1.8%(全店ベース)。
<b>出店、退店状況</b>	8月度 国内:新店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店1、海外:新店0
	8月末 国内店舗数: 535店舗(オートボックス437、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 1、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 6)

<b>2012年9月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は全店ベースで+0.9%、既存店ベースで▲1.6%。 <b>売上増減要素:</b> ①昨年の地デジ化移行に伴う特需の反動減は縮小傾向だが、カーナビゲーションの単価下落による売上減は引き続き継続。②エコカー補助金制度の終了が近づき、新車への乗り換え需要が落ちていることから、車検・整備需要は回復傾向。③スマートフォン関連用品と新車向け車内用品などアクセサリ売上は引き続き好調。④休日要因+1日。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 新車販売台数増による環境を背景に、降雪エリアを中心にタイヤ・ホイールセット販売が売上をけん引。 <b>カーエレクトロニクス:</b> 昨年の地デジ化移行に伴う特需の反動減は縮小。カーナビゲーションにおいては、単価下落による売上減が続いているものの、数量では5か月ぶりに前年比プラスに転じる(全店ベース)。 <b>オイル:</b> 低価格帯のオイルの販売強化のため、数量は伸びたが単価が下がり、売上金額は前年割れ。
<b>アクセサリ:</b>	新車販売台数の伸びと連動し、フロアマットとクッションなどインテリア・車内アクセサリが好調で売上けん引。スマートフォン関連用品の売上も堅調。 <b>メンテナンス:</b> 低価格帯のルーフBOXキャリアが引き続き好調。前年に比べ降雨量が少なく、ワイパーの売上は低調。
<b>カーリペア:</b>	昨年度に好調だったクリーナーの売上の減少などが影響。 <b>サービス:</b> 車検・整備が全体をけん引。車検・整備売上は、全店ベースで台数前年比+10.5%、金額前年比+9.2%と好調。車検・整備以外の工賃売上は前年並み。
<b>車販売:</b>	エコカー補助金制度の終了に伴い、新車販売台数の伸びが鈍化。全店ベースの台数前年比▲7.2%、金額前年比▲4.1%。
<b>出店、退店状況</b>	9月度 国内:新店3、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店1、海外:新店0
	9月末 国内店舗数: 537店舗(オートボックス440、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 0、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 6)

<b>2012年10月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は既存店ベースで▲8.5%、全店ベースで▲5.6%。売上増減要素:①土日祝日数、前年比で2日減、②昨年の地デジ特需からの反動減は縮小傾向だが、カーナビゲーションの単価下落は継続、③販促施策効果もあり、冬タイヤやホイールは堅調、④エコカー補助金制度終了に伴い新車販売台数が減少したことで、新車向け車内用品やスポーティグッズなど小物類の動きは鈍化。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 北日本・中部地域で新聞広告を実施。中部・関西地域を中心にスタッドレスタイヤの販売が好調。全店ベースでスタッドレスタイヤ金額前年比+10.3%。夏タイヤは同▲5.4%。 <b>カーエレクトロニクス:</b> カーナビゲーションの単価下落は継続し、売上減の主な要因となる。 <b>オイル:</b> 低価格帯オイルの販売を強化したことで同商品の販売数量は伸長。ただし、売上金額は前年割れ。 <b>アクセサリ:</b> 芳香剤やスマホ関連のデジタルメディア機器などは前年を上回ったが、エコカー補助金制度の終了に伴い、フロアマットやシートなどの販売が鈍化し前年割れ。
<b>カーリペア:</b>	上期に販売された新車向けコート剤、清掃用品などが好調。 <b>サービス:</b> 車検・整備、板金・塗装が全体をけん引。車検・整備売上は、全店ベースで台数前年比+4.0%、金額前年比+5.4%と好調。
<b>車販売:</b>	エコカー補助金制度の終了に伴い、新車販売台数の伸びが鈍化。中古車販売台数は前年比プラス。全店ベースの台数前年比+1.0%、金額前年比+1.2%。
<b>出店、退店状況</b>	10月度 国内:新店6、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:新店0 10月末 国内店舗数: 543店舗(オートボックス446、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 0、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 6)

<b>2012年11月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は既存店ベースで▲1.1%、全店ベースで+2.1%。売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減、②降雪と販促施策によりスタッドレスタイヤ、ホイール、タイヤチェーン、バッテリーなどの売上が好調、③エコカー補助金制度終了に伴い、小物類の動きは鈍化したものの、スマートフォン関連商品は引き続き好調、④カーエレクトロニクスについては、昨年の地デジ特需からの反動減は縮小傾向だが、カーナビゲーションの単価下落により売上減少。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 11月中旬から下旬に掛けて、全国的に気温が低下したことや、初雪時期と販促実施期間が重なったことにより、スタッドレスタイヤ・ホイールの売上が好調。全店ベースでスタッドレスタイヤ金額前年比+15.9%。夏タイヤは同▲4.0%。 <b>カーエレクトロニクス:</b> カーナビゲーション全体では単価下落に伴う売上減が継続。ただし、据え置き型ナビゲーションについてはキャッシュバック施策の効果などもあり、単価は前月の水準からは上昇。PNDについては、低価格帯商材や新商品の導入により引き続き単価は下落するも売上数量は前年を上回った。 <b>バッテリー:</b> 気温が下がってきたことによる需要増と11月から開始した高単価商品の販売強化企画により、金額・数量ともに前年を上回る実績。 <b>アクセサリ:</b> スマホ関連の新商品導入など、アイテム数増により売上をけん引したが、エコカー補助金制度の終了に伴い、車外用品や小物類の販売が鈍化し前年割れ。 <b>メンテナンス:</b> 首都圏を中心にタイヤチェーンの売上が好調、降雪地域においてはスノーワイパーの売上が伸長。 <b>サービス:</b> 車検・整備、板金・塗装、タイヤ・ホイール取付工賃が全体をけん引。車検・整備売上は、全店ベースで台数前年比+5.0%、金額前年比+7.1%。エコカー補助金制度の終了に伴い、カーディーラーとの競争が厳しくなる。 <b>車販売:</b> エコカー補助金制度の終了に伴い、新車は10月度の売上が鈍化したものの、11月は軽自動車を中心に回復傾向。中古車販売も好調を維持し、全店ベースの台数前年比+7.0%、金額前年比+7.9%。
<b>出店、退店状況</b>	11月度 国内:新店5、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:新店0 11月末 国内店舗数: 548店舗(オートボックス451、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 0、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 6)

<b>2012年12月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は既存店ベースで▲1.4%、全店ベースで+1.6%。売上増減要素:①降雪、寒波によりスタッドレスタイヤ、ホイール、タイヤチェーン、ワイパーなどの売上が好調、②カーナビゲーションは販促キャンペーンが好評だったため、数量は前年並みまで回復したものの、引き続き単価下落が影響し、金額では前年比マイナス。③秋までの新車販売の増加を受けて、車内アクセサリ類の売上は堅調。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 12月初旬から中旬にかけての寒波によりスタッドレスタイヤ・ホイールの売上が特に関東地方において好調。 <b>カーエレクトロニクス:</b> 12月中旬に全国統一企画としてキャッシュバックキャンペーンを実施し、当該期間においてカーナビゲーションの売上が金額前年比でプラス。12月全体では単価下落の影響もあり、据え置き型とPND共に売上が前年比マイナス。 <b>バッテリー:</b> 前月および前年同月の好調の反動でマイナス。 <b>アクセサリ:</b> スマートフォン関連グッズなどの車内小物、さらにフロアマット、ボディカバー、芳香・消臭剤などが好調。 <b>メンテナンス:</b> 関東などの非降雪エリアにおけるタイヤチェーンの売上が金額ベース前年比10%超の好調。またワイパーの売上も引き続き好調。 <b>サービス:</b> タイヤ・ホイール交換、車検・整備、板金などが牽引。車検・整備は全店ベースで台数前年比+5.2%、金額前年比+6.8%。
<b>車販売:</b>	新車が前年比マイナスだが中古車販売が小売・業販共に好調。全店ベースの台数前年比+9.9%、金額前年比+6.0%。
<b>出店、退店状況</b>	12月度 国内:新店5、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:新店0 12月末 国内店舗数: 550店舗(オートボックス452、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 0、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 7)

<b>2013年1月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は既存店ベースで▲2.0%、全店ベースで+0.8%。売上増減要素:①関東地方における大雪と寒波によりタイヤチェーン、スタッドレスタイヤ、ホイール、ワイパーなどの売上が好調。また降雪後の洗車関連需要の高まりにより、カーリペアの売上が好調、②カーナビゲーションは引き続き単価下落、台数も減少し前年比大幅マイナス。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 関東地方における降雪と寒波によりスタッドレスタイヤ・ホイールの売上が好調。 <b>カーエレクトロニクス:</b> 引き続きカーナビゲーションの単価下落売傾向により、特に金額ベースで大きく前年割れ。 <b>バッテリー:</b> 寒波により一部商品の需要が伸びたものの、既存店ベースでは金額・数量共に前年比微減。 <b>アクセサリ:</b> スマートフォン関連グッズなどの車内小物、さらにフロアマット、ボディカバーが好調。芳香・消臭剤も好調。レーダー探知機などが不調。 <b>メンテナンス:</b> 関東などの非降雪エリアにおける大雪の影響によりタイヤチェーンの売上が全体をけん引。金額ベース前年比で約2倍の売上となった。スノーワイパーも引き続き好調。 <b>サービス:</b> タイヤ・ホイール交換、車検・整備、板金などが牽引。車検・整備は全店ベースで台数前年比+9.2%、金額前年比+10.7%。
<b>車販売:</b>	新車が前年比マイナスだが中古車販売が小売・業販共に好調。全店ベースの台数前年比+0.7%、金額前年比+3.5%。
<b>出店、退店状況</b>	1月度 国内:新店1、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店0、海外:退店1 1月末 国内店舗数: 551店舗(オートボックス453、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 0、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 7)

<b>2013年2月度</b>	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
<b>【概況】</b>	前年同月比売上は既存店ベースで▲9.3%、全店ベースで▲6.7%。売上増減要素:①前年の新車販売好調の反動は全体的にマイナスの影響、②新車販売台数の減少と単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少、③関東地方における降雪により、タイヤチェーン、スタッドレスタイヤなどの売上が好調、④休祝日がプラス1日だったが、前年がうるう年だったことにより、効果を相殺。
<b>【商品別】</b>	<b>タイヤ・ホイール:</b> 関東地方の降雪によりスタッドレスタイヤやホイールが好調だったが、それ以外の地域では売上が伸長せず、前年比マイナス。 <b>カーエレクトロニクス:</b> 昨年の新車販売好調に伴う需要増の反動と単価下落により大きく前年割れ。 <b>バッテリー:</b> 昨年が好調だったため、その反動発生。高性能バッテリーは比較的好調。 <b>アクセサリ:</b> 人気商品の芳香・消臭剤が好調維持。車内小物はスマートフォン関連、ドリンクホルダーなどが好調。レーダー探知機などの不調が全体の数字を押し下げ。 <b>カーリペア:</b> 降雪後の洗車需要により、ワックス、シャンプー、コート剤などが好調。 <b>メンテナンス:</b> 関東における降雪の影響によりタイヤチェーンが好調。 <b>サービス:</b> 特に昨年好調だったカーナビ取付が前年比で大きく減少し全体でも前年割れ。車検・整備、板金などは引き続き堅調(全店ベースで台数前年比+4.6%、金額前年比+5.4%)。
<b>車販売:</b>	新車販売は減少、中古車販売は増加の傾向が強まる。買取の取り組み強化により業販は伸長。全店ベースの台数前年比+12.8%、金額前年比+8.3%。
<b>出店、退店状況</b>	2月度 国内:新店2、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、退店1、海外:退店0 2月末 国内店舗数: 552店舗(オートボックス454、スーパーオートボックス 76、オートハローズ 0、オートボックスセコハン市場 15、オートボックスエクスプレス 7)